

川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略

進行管理表及び重要業績評価指標（KPI）評価シート

（平成27年度）

平成28年10月

政策推進課

○評価について

評価	評価基準
A 順調	目標値を上回った、目標値どおり達成できた
B 概ね順調	目標値を上回ることはなかったものの、基準値をやや上回った スケジュールどおり事業を実施できた
C 遅れている	基準値をやや下回る スケジュールにやや遅れがある
D 見直しが必要	基準値より下回った 事業の達成が非常に困難である

基本目標1 若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実

●概要

基本的方向	「出生率の向上」を目指し、若い世代の結婚の希望をかなえ、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を行う環境づくりと教育を充実する。				
数値目標	指標	基準値 (25年度)	と 目標値 (31年度)	実績 (27年度)	達成率 (%)
	合計特殊出生率	0.80	⇒ 1.09		
評価	A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている				
評価の理由	※27年度の実績は、公表前のため、後日評価します。 26年度の実績値は1.04				

●重要業績評価指標（KPI）の評価

重要業績評価指標（KPI）	基準値 (26年度)	目標 (31年度)	実績 (27年度)	評価
結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実				
出会いから結婚への一層の支援				
婚姻件数	228件	10%増加	272件	A
子どもを安心して生み育てるための体制整備				
子育て支援拠点利用者数	—	年間15,000人	0人	—
産前産後子育て支援ヘルパー利用登録者数	—	50人	0人	—
子育て応援アプリ登録者数	—	350人	202人	A
児童遊園地整備数	—	全地域	9か所	A
不妊治療費助成件数	—	年間10件	0件	—
子育てに切れ目のない支援の充実				
子育てにやさしい経済支援				
第3子以降の出生数	20人	10%増加	22人	A
若者や子育て世代への住宅支援				
子育て世代の住宅リフォーム補助事業利用件数	—	20件（累計）	0件	—
固定資産税の課税免除件数	55件	300件（累計）	110件	B
川島町の未来を担う教育の充実				
次代を支える力を育てる教育の充実				
学力向上（埼玉県学力・学習状況調査）	—	県平均以上	14科目中2科目県平均以上	B

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

交：国交付金対象事業

推進施策	1-1 結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実		
具体的な施策	1-1-1 出会いから結婚への一層の支援		
重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値（26年度）	目標（31年度）
	婚姻件数	228件	10%増加（250件）

●主な取り組み

○結婚支援事業 【政策推進課】	事業年度 28年度～31年度
<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い独身者同士の出会いを支援します。近隣市町村と連携した婚活イベント等の開催を行います。 ・未婚者の結婚を支援する人（結婚サポーター）を募集し、結婚を希望する独身男女を対象として、結婚相談・お見合い支援を行い、成婚時には褒賞金等を支給します。 ・未婚の子を持つ親同士の交流会を行います。 <p><取組状況と課題></p> <p>結婚支援事業は、平成28年度からの実施に向けて、予算を確保した。結婚サポーター制度については、要綱を制定した。今後は、事業実施を通じて、結婚への意識醸成を図っていく。</p>	
○オリジナル婚姻届・オリジナル出生届の作成 【町民生活課】	事業年度 27年度～31年度
<p><事業概要></p> <p>若い世代が結婚や出産を身近で魅力あるものと感じられるようマスコットキャラクター（かわべえ、かわみん）等を用いた町オリジナルの婚姻届・出生届を作成します。</p> <p><取組状況と課題></p> <p>平成28年1月より、来庁者へオリジナル婚姻届・出生届に配布を開始。近隣の結婚式場や産婦人科医院等にも配布を行い、利用者の増大に努めた。</p>	

●重要業績評価指標（KPI）の評価

婚姻件数 【町民生活課】							
進捗状況評価	A	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		228件⇒10%増加 (250件)	272件				
	評価の理由						
	結婚支援事業は平成28年度からの実施に向けて、予算の確保、要綱制定など予定していたことが概ね達成できた。また、オリジナル婚姻届・出生届については、「かわいい」と反響があり、評判は上々であることから、届出が増えたと思われる。平成27年度実績によると、目標の年間250件を9%上回ることであったため。						
	今後の方向性（改善策）						
A 順調							
B 概ね順調							
C 遅れている	結婚サポーター制度、親向け交流会の実施やオリジナル結婚届・出生届の配布協力先を増やすことにより、結婚に対する意識醸成を図り、婚姻年間250件以上を維持できるよう努める。						
D 見直しが必要							

推進施策	1-1 結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実		
	1-1-2 子どもを安心して生み育てるための体制整備		
重要な行政評価指標 (KPI)	内容	基準値 (26年度)	目標 (31年度)
	子育て支援拠点利用者数	—	年間15,000人
	産前産後子育て支援ヘルパー利用登録者数	—	50人
	子育て応援アプリ登録者数	—	350人
	児童遊園地整備	—	全地域
	不妊治療費所助成件数	—	年間10件

●主な取り組み

○子育て支援拠点/川島版ネウボラの実施 【子育て支援課】	事業年度 29 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 町立川島幼稚園廃園後の施設を利用し、安心して・子育てができるよう子育て親子が気軽に集い交流できる場を整備します。また、川島版ネウボラとして、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない一貫したサポートを提供する体制を構築します。</p> <p><取組状況と課題> 施設整備に向けた設計業務を委託した。施設整備費として28年度予算を確保した。</p>	
○産前産後子育て支援ヘルパーの整備 【子育て支援課】	事業年度 28 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 妊娠中または出産後で体調不良等により家事をする人がいない家庭にヘルパーを派遣し、食事の支援、洗濯、掃除などの家事援助を提供する環境を整えます。</p> <p><取組状況と課題> 平成28年度事業実施に向け、予算を確保及び要綱案を作成した。</p>	
○予防接種情報提供サービス事業 【健康福祉課】	事業年度 27 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 予防接種への不安や負担感を軽減し、安心して子育てできる環境づくりとして、子育て情報を発信するアプリ「子育て応援ナビ」を実施します。</p> <p><取組状況と課題> スマートフォンや携帯電話を活用し、煩雑化する予防接種スケジュールの管理、感染症情報、母子保健事業、健診等の情報サービスを発信した。情報の更新、新情報の掲載の迅速化や利用者の意見の把握が必要である。</p>	
○平成の森公園あかちゃんの駅充実事業 【まち整備課】	事業年度 27 年度 ~ 27 年度
<p><事業概要> 乳幼児が安心して遊べ、親子同士の交流が活発になるよう平成の森公園内の授乳施設を再整備します。</p> <p><取組状況と課題> 平成の森公園事務所に、親が周囲を気を使わず安心して利用できるよう、授乳スペース、おむつ交換台・休憩用イス設置、幼児も一緒に過ごせるスペースを設置し、赤ちゃんの駅を充実した。事務所と一体的にあるため、園内巡回で管理人が不在時は、施錠のため利用できない。ミルクを作る場や手洗いする場がないなどが課題である。</p>	
○子どもの遊び場整備事業 【子育て支援課】	事業年度 27 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 地域の協力と資源を活かし、子育て環境を向上させるため、各自治会の主体的な子育て活動を支援し、地域の児童遊園地を再生します。</p> <p><取組状況と課題> 区長会を通じ、地域で管理している児童遊園地の全遊具の点検を行った。点検により、緊急度の高い順に整備年度を割り振り、各地区を実施団体として合計9か所の児童遊園地の遊具の更新に、補助を行った。</p>	

○放課後児童クラブ学習環境整備事業 【子育て支援課】		事業年度 27 年度 ~ 27 年度
<事業概要> 民営の放課後児童クラブにおける環境改善を図るための補助を行います。		交付金
<取組状況と課題> 町内に3か所ある放課後児童クラブ(学童保育クラブ)へ、備品購入や施設修繕などの費用に対し、補助した。		
○不妊治療費助成事業 【健康福祉課】		事業年度 28 年度 ~ 31 年度
<事業概要> 不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けた方や男性不妊治療を受けた方にその治療費を助成します。		
<取組状況と課題> 平成28年度の実施に向け、予算の確保、実施要綱の作成を行い、広報及び町ホームページ等で周知啓発を実施した。		

●重要業績評価指標（KPI）の評価

子育て支援拠点利用者数 【子育て支援課】							
進捗状況評価	—	基準値(26年度)と目標(31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 年間15,000人	0人				
	評価の理由						
	平成29年度子育て支援拠点施設の開設に向け施設の設計を行った。						
	今後の方向性(改善策)						
	A 順調						
	B 概ね順調						
	C 遅れている						
	D 見直しが必要						

産前産後子育て支援ヘルパー利用者登録数 【子育て支援課】							
進捗状況評価	—	基準値(26年度)と目標(31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 50人	0人				
	評価の理由						
	他市町村の状況や業務内容の調整、予算の確保、要綱案の作成を行った。						
	今後の方向性(改善策)						
	A 順調						
	B 概ね順調						
	C 遅れている						
	D 見直しが必要						

子育て応援アプリ登録者数 【健康福祉課】							
進捗状況評価	A	基準値(26年度)と目標(31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 350人	202人				
	評価の理由						
	月単位の登録者数は、出生数とほぼ同数で増加しており、概ね順調である。予防接種が最も煩雑な時期に登録がされ、有効活用していることが予想される。また、月単位アクセス数は、約5,500件で一定の利用頻度があると思われる。						
	今後の方向性(改善策)						
	A 順調						
	B 概ね順調						
	C 遅れている						
	D 見直しが必要						

児童遊園地整備 【子育て支援課】							
進捗状況評価	A	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 全地域	9か所				
	評価の理由						
	当初予定していた全遊具の点検・緊急度の高い児童遊園地の遊具更新ができたため。整備については、当初8か所の予定を1か所前倒して9か所整備した。						
	A 順調	今後の方向性（改善策）					
B 概ね順調	事業の継続						
C 遅れている							
D 見直しが必要							

不妊治療費助成件数 【健康福祉課】							
進捗状況評価	—	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 年間10件	0件				
	評価の理由						
	平成28年度の事業実施に向け、予算の確保、実施要綱の作成、広報等周知を行った。						
	A 順調	今後の方向性（改善策）					
B 概ね順調							
C 遅れている							
D 見直しが必要							

推進施策	1-2 子育てに切れ目のない支援の充実		
具体的な施策	1-2-1 子育てにやさしい経済支援		
重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値（26年度）	目標（31年度）
	第3子以降の出生数	20人	10%増加

●主な取り組み

○川島町第3子以降私立幼稚園保育料無料化事業 【教育総務課】	事業年度 27年度 ~ 31年度
<事業概要> 多子世帯への経済的負担を軽減するため、第3子以降の私立幼稚園の保育料を無料化します。 交付金 <取組状況と課題> 私立幼稚園に入園している第3子以降の保育料を、私立幼稚園に補助した。(35件 4,032,600円)	
○入園祝い金事業 【教育総務課】	事業年度 27年度 ~ 31年度
<事業概要> 私立幼稚園等に入園する子どもの保護者へ、入園祝い金を支給します。 交付金 <取組状況と課題> 園児一人につき、一律3万円を補助した。151件 4,530,000円 (平成27年度入園分 89件 平成28年度入園分 62件)	
○新たな奨学金制度の創設 【教育総務課】	事業年度 28年度 ~ 31年度
<事業概要> ・大学生等を対象に金融機関と連携し、新たな奨学金制度を創設します。 ・育英資金等の貸付を受け、卒業後も定住する方については、奨学金返還の負担軽減を図ります。 <取組状況と課題> 銀行と連携し、貸付主体は銀行で低金利の教育ローンの創設を提案した。定住者については、利息を免除することで、若い世代の定住が図れるもの。銀行との面談を数回行ったが、町と銀行側とのすり合わせ等に時間を消費し、制度設計までには至らなかった。	

●重要業績評価指標（KPI）の評価

第3子以降の出生数 【教育総務課】		基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
進捗状況評価	A	20人 ⇒ 10%増加 (22人)	22人				
		評価の理由					
	A 順調	27年度においては、第3子以降の出生数10%増加を達成でき、順調であった。 (第3子以上の出生数22人:第3子16人、第4子3人、第5子3人 ※保健センター調べ)					
	B 概ね順調	今後の方向性（改善策）					
C 遅れている	今後もさらに第3子以降の子どもの数が増えるよう目指していく。						
D 見直しが必要							

推進施策	1-2 子育てに切れ目のない支援の充実			
	具体的な施策	1-2-2 若者や子育て世代への住宅支援		
		内容	基準値（26年度）	目標（31年度）
		子育て世帯の住宅リフォーム補助事業利用件数	—	20件（累計）
重要行政評価指標（KPI）	固定資産税の課税免除件数	55件	300件（累計）	

●主な取り組み

○調整区域の開発基準の見直し 【まち整備課】	事業年度 27 年度 ～ 31 年度
<p><事業概要> 市街化調整区域や農業振興地域で住宅を建てるための開発基準の見直しの整備を図ります。</p> <p><取組状況と課題> 開発関連会議等において、県内開発許可基準等見直し状況の把握を行った。県と町との開発許可基準の考え方に相違があり、検討が必要である。</p>	
○子育て世帯への住宅リフォーム補助事業 【農政産業課】	事業年度 28 年度 ～ 31 年度
<p><事業概要> 中古住宅や空き家等を購入し、リフォームする子育て世帯に対し、住宅リフォームの補助金を拡充します。</p> <p><取組状況と課題> 28年度から補助拡大を図るため、「川島町住宅リフォーム補助金要綱」の改正を行った。 子育て世帯は上限10万円 ⇒ 上限20万円</p>	
○固定資産税の課税免除 【税務課】	事業年度 27 年度 ～ 31 年度
<p><事業概要> 平成30年1月1日までの固定資産税の課税免除について期間を延長します。</p> <p><取組状況と課題> ・免除対象の家屋及び免除税額はH25年申請分55件2,833,424円、H26年申請分55件2,728,502円となり、合計110件5,561,926円であった。 ・周知のため、東武東上線及びJR高崎線の近隣駅、近隣住宅展示場、川島インター北産業団地の事業所に「若者の定住を応援します。ポスターとチラシを掲示依頼した。</p>	

●重要業績評価指標（KPI）の評価

子育て世帯の住宅リフォーム補助事業件数 【農政産業課】							
進捗状況評価	—	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 20件	0件				
	評価の理由						
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	要綱を改正や予算を確保した。 今後の方向性（改善策）					

固定資産税の課税免除件数 【税務課】							
進捗状況評価	B	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		55件 ⇒ 累計300件	110件				
	評価の理由						
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	目標300件に対し、27年度55件の申請があり、累計で110件の実績をあげられ、達成率は36.67%となり、2年目の達成度は概ね順調である。 今後の方向性（改善策）					

推進施策	1-3 川島町の未来を担う教育の充実		
	具体的な施策 1-3-1 次代を支える力を育てる教育の充実		
	重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値 (26年度) 目標 (31年度)
	学力向上 (埼玉県学力・学習状況調査)	—	県平均以上

●主な取り組み

○きめ細かい教育の推進 【教育総務課】	事業年度 28 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 小中学校の1クラスあたりの人数を40人から30人程度とし、一人ひとりにきめ細かい教育を推進します。</p> <p><取組状況と課題> 28年度の実施に向けて、町単独事業として教員の人件費についての予算を確保した。</p>	
○学校規模の適正化の推進 【教育総務課】	事業年度 27 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 少子化に対応し、基準にあった学校規模の適正化を町民の意見を聞きながら推進します。</p> <p><取組状況と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校規模適正化に関する保護者及び地域住民を対象にしたアンケート実施 ・保護者及び地域住民を対象にした説明会の実施(計40回) ・川島町立学校規模適正化計画の策定、川島町立小中学校設置条例の一部改正 	
○川島方式子ども学習支援システムの構築 【教育総務課】	事業年度 28 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 児童生徒の学力向上を図るため、「川島方式子ども学習支援システム」を構築します。</p> <p><取組状況と課題> 小中学校長等で組織された「学力向上委員会」で色々な取り組みを協議し、平成28年度の実施に向け、予算を確保した。</p> <p>①町独自の一斉テスト②家庭学習ノート③ICT活用の推進(タブレット端末の導入) ④私塾との連携⑤外国語活動支援員の配置</p>	

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

学力向上 (埼玉県学力・学習状況調査) 【教育総務課】							
進捗状況評価	B	基準値 (26年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		—	県平均以上 2/14科目				
	評価の理由						
	A 順調	平成27年度がの埼玉県学力・学習状況調査では、小学4年国語・算数、小学5年国語・算数、小学6年国語、中学1年国語、中学2年国語・数学・英語、中学3年国語・数学・英語が埼玉県平均正答率を下回っている。特に中学3年英語においては10ポイント以上下回っている。これを受けて、川島町独自の学力テストを実施し、各学校で結果の分析と指導を行った。また町で作成した「かわべえ・かわみん家庭学習ノート」を活用して、家庭学習の指導に力を入れた。※小学6年算数、中学1年数学は県平均以上					
	B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	<p>今後の方向性 (改善策)</p> <p>全国学力・学習状況調査で成果を上げている秋田県より講師を招聘して学力向上講演会を開催し、教師が授業の改善に取り組んでいく。また、子ども達の学力向上を目指し私塾との連携事業も進めていく。</p>					

基本目標2 地域産業の活性化と雇用の創出

●概要

基本的方向	「社会減の縮小(転出超過の是正)」を目指し、川島インターチェンジ周辺の産業団地の整備・拡充を図るとともに、農業の活性化を図り、魅力ある「しごと」を創出する。			
数値目標	指標	基準値 と 目標値	実績 (27年度)	達成率 (%)
	従業者数(事業所単位)	9,528人⇒9,800人 《272人増》 (24年度) (31年度)	63人	23%
	新規就農者数	1人 ⇒ 延べ20人 (26年度) (31年度)	4人	20%
評価	B		A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている	
評価の理由	・従業者数は、基準値9,828人と目標9,800人との差272人の雇用確保の目標に対し、インター産業団地及びカインズモールにおいて、従業者数63人の雇用を確保でき、23%の達成率であったため。 ・新規就農者数は、27年度新規就農者として、新たな補助金申請者は4名であり、20名の目標に対し、20%の達成率であったため。			

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (26年度)	目標 (31年度)	実績 (27年度)	評価
雇用創出につながる企業誘致の推進				
企業集積拠点の拡充				
企業誘致数	—	7件	1件	B
農業の活性化と担い手の確保				
特産品・農産物等のブランド力の向上				
新規ブランド品開発数	—	1品目	0品目	B
かわじま朝市開催回数	12か所	16か所	12回	B
農地集積の体制構築と若い後継者の確保				
農業公社設立	—	1か所	0か所	C
農地集積か所(50アール以上の区画割)	—	30か所	4か所	B
人・農地プラン新規作成か所	—	3か所	0か所	C

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

推進施策	2-1 雇用創出につながる企業誘致の推進		
	具体的な施策 2-1-1 企業集積拠点の拡充		
	重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値 (26年度) 目標 (31年度)
	企業誘致数	—	7件

●主な取り組み

○川島インターチェンジ南側地区開発事業 【まち整備課】		事業年度 27年度 ~ 31年度
<p><事業概要></p> <p>交通利便性の向上による開発需要に応じた産業基盤作りを推進すべく、川島インターチェンジ南側地区の造成により、川島インター産業団地の拡充を図ります。</p> <p><取組状況と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 川島インターチェンジ南側地区土地区画整理事業の事業許可に向けて、必要資料を作成し県関係機関と協議を進めた。(川島インター周辺地域のまちづくり構想図書作成業務委託、県との協議、開発事業パートナー選定のための資料作成、インター南地区開発に伴う企業への意向調査及び集計) 開発事業パートナー募集広告 事業区域が大きく、ほとんどが農業振興地域農用地区域(青々地域)であるため協議に時間を要する。 		
○企業誘致環境整備事業 【まち整備課】		事業年度 27年度 ~ 31年度
<p><事業概要></p> <p>企業が進出しやすい環境整備を推進し、企業誘致を積極的に促進します。</p> <p><取組状況と課題></p> <p>川島インターチェンジ南側地区土地区画整理事業の事業許可に向けて、必要資料を作成し県関係機関と協議を進めた。三島地区にはGLPの進出が決定した。 事業区域が大きく、ほとんどが農業振興地域農用地区域(青々地域)であるため協議に時間を要する。</p>		
○ふれあいパークの整備 【まち整備課】		事業年度 27年度 ~ 31年度
<p><事業概要></p> <p>川島インターチェンジ南側地区に、人と人がふれあう観光・文化・交流の拠点となる「ふれあいパーク」の設置を進めます。</p> <p><取組状況と課題></p> <p>川島インター周辺地域のまちづくり構想図書作成業務を委託した。 県との協議、開発事業パートナー選定のための資料作成、インター南地区開発に伴う企業への意向調査及び集計など</p>		

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

企業誘致数 【農政産業課】							
進捗状況評価	B	基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 7件	1件				
	評価の理由						
	川島インターチェンジ南側地区内への企業誘致に向けて、県関係機関と調整中。						
	今後の方向性 (改善策)						
A 順調							
B 概ね順調							
C 遅れている							
D 見直しが必要	1月17日に地元地権者協議会が発足した。6月5日の地権者協議会総会において、開発事業パートナーが決定されるため、事業者選定後は、農林調整資料の熟度をあげて引き続き県関係機関と調整を進める。また、開発事業パートナー及び地元地権者協議会と連携し、誘致企業の業種や規模、雇用等について調整する。						

推進施策	2-1 農業の活性化と担い手の確保			
	具体的な施策	2-2-1 特産品・農産物等のブランド力の向上		
		重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値 (26年度) 目標 (31年度)
			新規ブランド品開発数	— 1品目
かわじま朝市開催回数	12回 16回			

●主な取り組み

○町特産品のブランド化事業 【農政産業課】 事業年度 27年度～31年度

<事業概要>

- ・町の特産品の6次産業化に向けた調査・研究を行います。
- ・米や野菜など町の農産物の付加価値を一層高めるとともに、ご当地グルメなどを開発し消費拡大につなげます。
- ・いちご、いちじくなどは観光農園等での直売のほか、付加価値を向上するため、加工品などの研究を重ねブランド化を進めます。

<取組状況と課題>

- ・6次産業化については、相談のみで、進捗がない状況であった。
- ・「ご飯料理コンテスト」の28年度開催に向けて、調整を行い、予算を確保した。
- ・「いちご」「いちじく」のブランド化に向けて、各組合、県農林振興センターと調整を行った。

○かわじま朝市の拡充 【まち整備課】 事業年度 27年度～31年度

<事業概要>

出店者や出店内容の条件の緩和や開催日、開催場所を増やすなど「かわじま朝市」の拡充を図ります。

<取組状況と課題>

カインズで毎月1回開催を実施した。28年度については、月1回の開催のほか、春まつりや農業商工祭などイベントへの参加を4回計画、開催回数の増加を、かわじま朝市実行委員会決定した。

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

新規ブランド品開発数 【農政産業課】

進捗状況評価	B	基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	
		— ⇒ 1品目	0品目					
	評価の理由							
	A 順調	・6次産業化については、調査研究を行い、28年度に計画策定を進める予定であり、概ね順調である。 ・お米の消費拡大を図るため、「ご飯料理コンテスト」の28年度開催に向けた調整を行った。						
	B 概ね順調	今後の方向性 (改善策)						
C 遅れている								
D 見直しが必要								

かわじま朝市開催回数 【農政産業課】

進捗状況評価	B	基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	
		12回 ⇒ 16回	12回					
	評価の理由							
	A 順調	計画どおり月1回の開催を行った。また、28年度に目標である16回の開催に向けて、実行委員会での決定を得られた。						
	B 概ね順調	今後の方向性 (改善策)						
C 遅れている	毎月1回の開催に加え、イベント時等に4回開催する予定。							
D 見直しが必要								

推進施策	2-2 農業の活性化と担い手の確保			
	具体的な施策 2-2-2 農地集積の体制構築と若い後継者の確保			
	重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値 (26年度)	目標 (31年度)
		農業公社設立	—	1か所
農地集積か所		1か所	30か所	
	人・農地プラン新規作成か所数	—	3か所	

●主な取り組み

○農地集積事業 【農政産業課】 事業年度 27年度～31年度

<事業概要>
 将来にわたって優良農地を引き継いでいくため、農地の企業化(法人化)を図るとともに、人・農地プランの活用や農業公社設立などに取り組み、農地集積を計画的に行います。

<取組状況と課題>
 ・人・農地プランが策定済の平沼地区について、さらなる集積を進めるため、人・農地プランの見直しを進めるとともに、地域内の調整を図り、全体計画面積を7.2haから9.9haへ拡大した。さらに、農地中間管理機構への農地の貸し出し手続きも行った。
 ・個人農家や農業団体等の法人化、農業公社設立については、進捗なし

○新規就農者、営農者への総合支援 【農政産業課】 事業年度 27年度～31年度

<事業概要>
 若い就農者が、自立した農業経営ができるよう支援します。

<取組状況と課題>
 新規就農者として、平成27年度に4名の手続きが終了し、継続した協議を行っている新規就農者が2名となっている。定期的に連絡をとり、就農に向けた準備を進めている。大規模営農者をはじめ各農家への確認を行い、若い就農希望者の情報を得ており、直接働きかけることで、就農への喚起を行っている。町独自の新規就農者に対する相談会は行っていないので、今後検討が必要である。

○農業プロジェクト 【農政産業課】 事業年度 27年度～31年度

<事業概要>
 町外の若い就農希望者を対象に、農業公社等による農業ふれあい拠点を整備し、農家の指導を受け、農業の技術を取得し、将来的に農地を取得して、自立した農業経営が出来るように支援します。また、女性向けの農業体験や研修を実施し、女性ならではの視点で、農業の魅力を発信してもらう「農業女子」の育成を図ります。

<取組状況と課題>
 ・農業ふれあい拠点の整備に関しては、場所の選定、規模、内容などを計画し、地権者等との調整が必要となるなど一長一短には進まない事業であるため、思うように進捗していない。
 ・農業女子に関しては、自発的な取組みへの平成28年度に埼玉県取組が始まるので、動向を確認しながら進める必要がある。

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

農業公社設立 【農政産業課】

進捗状況評価	C	基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 1か所	0か所				
	評価の理由						
	農業の法人化や農業公社について各方面での調整を開始した。						
	今後の方向性 (改善策)						
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	法人化に関しては、大規模に営農している個人農業者を中心に提案をしていく。法人化することのメリットとデメリットを明確に提示して、県の東松山農林振興センターとともに進めていく。また、28年度に(公財)東松山農業公社への視察を予定。						

農地集積か所 (50アール以上の区画割) 【農政産業課】

進捗状況評価	B	基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		1か所 ⇒ 30か所	4か所				
	評価の理由						
	平沼地内の調整を行い、人・農地プランの見直しを行い、全体計画面積の拡大を図り、目標の13%の達成率であったため。						
	今後の方向性 (改善策)						
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後新たな地区を定め、さらなる集積を推進していく。						

人・農地プラン新規作成か所数 【農政産業課】							
進捗状況評価	C	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 3か所	0か所				
	評価の理由						
	27年度は、人・農地プランの見直しのみで、新規作成はなかったため。						
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性（改善策） 今後新たな地区を定め、さらなる集積を推進していく。					

基本目標3 子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり

●概要

基本的方向	「定住の希望をかなえる生活環境」を目指し、すべての町民が心身ともに健康長寿を実現し、安全、安心な地域をつくり、新たな公共交通システムを導入し、利便性の高い暮らしが送れる生活基盤を整備する。				
数値目標	指標	基準値 と 目標値 (24年度) (31年度)		実績 (27年度)	達成率 (%)
	市民の健康寿命 (埼玉県の基準：65歳に達した県民が要介護2以上になるまでの期間)	男性 16.94年 女性 19.68年	⇒ 男女とも1年以上向上		
評価	A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている				
評価の理由	27年度の実績は、公表前なので、公表後評価します。 26年度の実績は、男 16.41年 女 19.56年				

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (26年度)	目標 (31年度)	実績 (27年度)	評価
子どもからお年寄りまでちいきでふれあう機会の拡充				
小さな拠点の創出と健康づくりの支援				
地域の集まりの場（サロン）の整備数	—	3か所	0か所	B
健康★筋力アップ教室参加者数	—	延べ625人	123人	B
誰もが安心して暮らせる地域づくり				
交通弱者に対する支援				
新たな公共交通	—	28年度運行開始	運行内容決定	B
町民・地域・関係機関と連携した安全と安心の地域づくり				
自主防災会の設立	53か所	全地域（58か所）	全地域	A
子ども110番の家に対する子どもたちの認識	—	100%	100%	A

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

交：国交付金対象事業

推進施策	3-1 子どもからお年寄りまで地域でふれあう機会の拡充		
具体的な施策	3-1-1 「小さな拠点」の創出と健康づくりの支援		
重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値 (26年度)	目標 (31年度)
	地域の集まりの場 (サロン) の整備数	—	3か所
	健幸★筋力アップ教室参加者数	—	延べ625人

●主な取り組み

○地域の集まりの場 (サロン) の整備 【健康福祉課】 事業年度 28 年度 ~ 31 年度

<事業概要>
子どもからお年寄りまでが気軽に集まれる「小さな拠点」を創出し、お年寄りや時間の空いているお母さんと乳幼児が一緒になって子育てを行うなど、地域で支えあう仕組みを展開します。

<取組状況と課題>
28年度の開設に向けて、地域住民主体によるサロンの立上げ及び運営を町と社会福祉協議会で協力する体制を整えた。サロンの場所となる家屋の家賃と火災保険の費用を町が負担するため、予算を確保した。28年度に1か所開設予定であるが、他の2ヶ所について同様の対応(会場、立上げの主体、協力体制等)となるとは限らず、今後どのように立ち上げを行うべきか、平成28年度中に検討し、進めていく必要がある。

○健幸★筋力アップ教室 【健康福祉課】 事業年度 27 年度 ~ 31 年度

<事業概要>
個人個人の体力や身体の状態に応じた個別プログラムによる筋力アップトレーニングと栄養サポートを行う教室を実施し、健康づくりを支援します。

<取組状況と課題>
・個人の体力に合わせた個人運動プログラム(筋トレ・エアロバイク・ウォーキングなど)を教室及び自宅で実施した。
・バランスの良い食事や減塩対策等の個別栄養指導及び栄養講座を実施した。
・個人の運動実施状況や体組成の変化や血液データなどの成果について見える化を図っていく。
・29年度で県の補助事業が終了するため、継続実施に向けて予算経費の検討が必要。

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

地域の集まりの場 (サロン) の整備数 【健康福祉課】

進捗状況評価	B	基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 3か所	0か所				
	評価の理由						
	27年度は開設に向けた準備を行った。28年5月10日に1か所開設予定である。						
	A 順調	今後の方向性 (改善策)					
B 概ね順調							
C 遅れている	28年5月10日に1か所開設予定。他の地区にもサロンを立ち上げるためには、住民等による周知が必要と思われ、民生委員や区長等に情報提供を行っていく。また、サロン活動を活発にするために町の事業の利用などを検討したい。						
D 見直しが必要							

健幸★筋力アップ教室参加者数 【健康福祉課】

進捗状況評価	B	基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 延べ625人	123人				
	評価の理由						
	・27年度参加者は123人と19.7%の達成率で、順調であったが、継続率は72.4%(実89人)であったため、事業の目標である75%を達成できなかったため。 ・6か月間の教室の結果、一定の成果が得られた。						
	B 概ね順調	今後の方向性 (改善策)					
C 遅れている	月2回コースに、マイナスの結果が多かったため、28年度は月2回コースを減らし、月4回コースを増やす。						
D 見直しが必要							

推進施策	3-2 誰もが安心して暮らせる地域づくり		
具体的な施策	3-2-1 交通弱者に対する支援		
重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値(26年度)	目標(28年度)
	新たな公共交通	—	運行開始

●主な取り組み

○新たな交通システムの導入 【政策推進課】	事業年度 27年度 ~ 31年度
<p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用負担とのバランスを図りながら、デマンド交通など新たな公共交通システムの導入を進めます。 ・成田交通などへの向かう高速バスターミナルの設置を検討します。 <p><取組状況と課題></p> <p>川島町地域公共交通会議において、新たな公共交通システムの導入に向けた調査・研究を進め、平成28年2月に「タクシー車両を活用したオンデマンド交通」のテスト運行の実施を決定した。</p> <p>【決定までの経緯】</p> <p>平成27年9、11、12月 川島町地域公共交通会議分科会での新たな公共交通システムの検討。 平成28年2月 平成28年2月に「タクシー車両を活用したオンデマンド交通」のテスト運行の実施を決定。</p>	
○買い物支援事業 【農政産業課】	事業年度 28年度 ~ 31年度
<p><事業概要></p> <p>日常生活において身近な買い物に不便を感じている高齢者等に対して、見守り活動を兼ねて、買い物サービスを提供する事業者を支援します。</p> <p><取組状況と課題></p> <p>町及び川島町商工会が、セブンイレブンの協力を得て、買い物弱者へ移動販売を開始するよう調整した。28年度より、小見野地域の一部で宅配サービスの支援運行を実施する予定。</p>	

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

新たな公共交通 【政策推進課】							
進捗状況評価	B	基準値(26年度)と目標(28年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 運用開始	運行内容決定				
	評価の理由						
	川島町地域公共交通会議分科会での検討や公共交通アドバイザーとの協議、先進自治体の視察を経て、「タクシー車両を活用したオンデマンド交通」のテスト運行の実施を決定した。決定後、事業者と調整を重ね、平成28年6月のテスト運行開始に向けた準備を進めた。						
	今後の方向性(改善策)						
A 順調	事業の継続実施						
B 概ね順調							
C 遅れている							
D 見直しが必要							

推進施策	3-2 誰もが安心して暮らせる地域づくり		
具体的な施策	3-2-2 町民・地域・関係機関と連携した安全と安心の地域づくり		
重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値(26年度)	目標(31年度)
	自主防災会の設立	53か所	全地域(58か所)
	こども110番の家に対する子どもたちの認識	—	100%

●主な取り組み

○地域防災力向上事業 【総務課】	事業年度 27年度～31年度
<p><事業概要> 交付金 自主防災会の家具の転倒防止金具、ヘルメット、レスキューセット等の購入に対し、町が補助が実施し、防災意識の高揚及び地域の団結力の向上を図り、安心な暮らしを守ることで、定住の促進につなげます。</p> <p><取組状況と課題> 川島町自主防災連合会及び各自主防災会が購入した資機材購入費(ヘルメット、レスキューセット、防水メガホンなどを購入)に対し、町が補助を行った。</p> <p>○交付金活用 ・家具転倒防止金具 自主防災会加入世帯(6,542世帯)へ配布 ・ヘルメット 各自主防災会救出救護班の人数分配布など</p> <p>○町単独補助 ・資機材購入費への補助(21団体 訓練消火器、災害用誘導ライトなど) ・自主防災訓練での材料費等の購入補助(9地区)</p>	
○災害対応力向上事業 【総務課】	事業年度 27年度～31年度
<p><事業概要> 災害時の拠点として、平常時は野球場など町民のスポーツ・レクリエーションとしての施設を兼ね備えた災害避難所を整備します。</p> <p><取組状況と課題> 国土交通省に災害避難所の整備を要望した。(整備実施時期は未定) 地区住民・関係機関と慎重に協議を重ねていく必要がある。</p>	
○子どもの通学安全確保事業 【総務課】	事業年度 27年度～31年度
<p><事業概要> 交付金 町民、地域、関係機関が連携して、子どもたちが安心して通学できる環境を守るよう見守り活動やこども110番の家の看板やマップを作成し、子供を育てやすい環境の向上を図ります。</p> <p><取組状況と課題> 各小学校でこども110番の家のマップを作成し、こども110番の家協力者設置用プレートと協力者用ベストを作成した。(協力者設置用プレート 253枚、協力者用ベスト 230枚) 今後の小学校の統合を踏まえ、こども110番の家の活動内容も検討が必要である。地区によっては、連絡協議会の理事の選出が課題である。</p>	

●重要業績評価指標(KPI)の評価

自主防災会の設立 【総務課】								
進捗状況評価	A	基準値(26年度)と目標(31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	
		53か所 → 全地域(58か所)	全地域(57か所)					
	評価の理由							
	A 順調	自主防災会が町内全地区に結成されたため。合同設置が1か所あり、全地域58か所→57か所						
	B 概ね順調	今後の方向性(改善策)						
C 遅れている	自主防災会が主体となって行う自主防災訓練での材料費等の購入費の一部を補助するなど、自主防災会の支援を図っていく。							
D 見直しが必要								
こども110番の家に対する子どもたちの認識 【総務課】								
進捗状況評価	A	基準値(26年度)と目標(31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	
		— → 100%	100%					
	評価の理由							
	A 順調	小学校において、マップの作成や子どもたちと「こども110番の家協力者」との顔合わせを行っており、認識度100%を図っている。						
	B 概ね順調	今後の方向性(改善策)						
C 遅れている	地域と関係団体との連携をさらに深める。							
D 見直しが必要								

基本目標4 人を呼び込む観光・交流の活性化

●概要

基本的方向	「転入のきっかけとなる交流の活性化」を目指し、転入・移住の第一歩として本町を訪れてみたいという人を増やす。				
数値目標	指標	基準値 (26年度)	と 目標値 (31年度)	実績 (27年度)	達成率 (%)
	観光・交流人口	約60,000人 ⇒ 100,000人			
評価	A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている				
評価の理由	集計結果が分かりしだい、評価します。				

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (26年度)	目標 (31年度)	実績 (27年度)	評価
川島町の魅力発信と認知度向上				
積極的なタウンプロモーションの展開				
交 町公式ホームページアクセス数	約15万件	20万件以上	177,267件	B
公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備数	—	5か所	0か所	—
ゆるキャラグランプリ順位	—	100位以内	897位	B
新たな観光資源の発掘と交流の創出				
ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進				
観光農園来園者数	—	年間2,000人	集計不可	—
観光農園拠点整備数	—	1か所	0か所	C

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

交：国交付金対象事業

推進施策	4-1 人を呼び込む観光・交流の活性化		
具体的な施策	4-1-1川島町の魅力発信と認知度向上		
重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値 (26年度)	目標 (31年度)
	町公式ホームページアクセス数	年間15万件	年間20万件以上
	公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備数	—	5か所
	ゆるキャラグランプリ順位 (約1,800位中)	900位	100位以内

●主な取り組み

○ホームページタウンプロモーション事業 【政策推進課】		事業年度 27 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 町公式ホームページをリニューアルします。コンテンツは、都会に一番近い農村、観光や子育てアプリ、地域お勧め情報、空き家情報、求職情報、転入者の話、農産物の紹介、若い独身者をターゲットにした移住・転入促進PRなど、町民だけでなく、国内外の人が「訪れたい」「住みたい」と思えるようなホームページに随時更新していきます。</p> <p><取組状況と課題> 平成28年3月1日より、町公式ホームページを川島町の魅力・特色を町内外へ効果的に発信し、「分かりやすい、探しやすい、使いやすい」、誰もが利用できるようリニューアルした。 ○都会に一番近い農村 川島町の郷土食「すったて」「かわじま呉汁」○ようこそ！かわじままちへ「かわじま新生活NAVI」○子育て応援川島などのコンテンツの作成を図った。 一部コンテンツの中で作成できていないものがある。新ホームページ導入からまだ日が浅く、職員が操作に不慣れな点があり、迅速な情報提供にいたらない部分が散見される。</p>		
○公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備事業 【政策推進課】		事業年度 28 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 観光アプリの利用促進を目的に、公共機関等での無料Wi-Fiスポット設置を整備していきます。</p> <p><取組状況と課題> 公衆無線LAN「Wi-Fi」の設置場所の検討及び詳細な設置方法や機械、運用方法等の検討を行い、平成28年度予算を確保した。平成28年度以降に設置を行う予定であり、設置数については、平成28年度に観光拠点を含めた3か所とし、観光拠点として遠山記念館及び観光情報の発信拠点や災害時対応なども踏まえ、コミュニティーセンター・川島町役場とする。平成29年以降は、設置場所の検討及び運用方法も含め検討し、2か所を選定し、設置する予定。</p>		
○マスコットキャラクターPR事業 【農政産業課】		事業年度 27 年度 ~ 31 年度
<p><事業概要> 交付金 ・町民や商工会と協力して「かわべえ」「かわみん」のキャラクター商品開発を行い、町外に向けて本町の存在感をPRします。 ・新庁舎の落成にあわせ、「かわべえ」「かわみん」のパネルを作成し、庁舎玄関に設置してPRします。</p> <p><取組状況と課題> かわべえ、かわみんが各地のイベントに参加して、PRを図った。パネルを作成し、庁舎玄関に設置した。</p>		

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

町公式ホームページアクセス数 【政策推進課】		基準値 (26年度) と目標 (31年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		約15万件 ⇒ 20万件以上	177,267件				
進捗状況評価	B	評価の理由					
		<p>・町公式ホームページのリニューアルを行い、コンテンツの増加や担当職員によるリアルタイムな情報提供が行えるようになったが、一部未実施の内容や職員の操作不慣れな点があり、未達成な部分がある。</p> <p>・町公式ホームページの年間アクセス数は、前年度実績(26年度)を超えており、順調に推移しているものの、ホームページリニューアル後の実績はまだ無いため、評価には至らない状況である。</p>					
	A 順調						
	B 概ね順調	今後の方向性 (改善策)					
C 遅れている	ホームページ作成の操作に慣れ、リアルタイムな情報提供が図れるよう、職員向けのホームページ操作研修を実施する。						
D 見直しが必要							

公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備数 【政策推進課】

進捗状況評価	—	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 5か所	0か所				
評価の理由							
平成28年度の実施に向けて、予算の確保を図ったため。							
A 順調							
B 概ね順調							
C 遅れている							
D 見直しが必要							
今後の方向性（改善策）							
平成28年度に観光拠点を含めた3か所に設置する予定。							

ゆるキャラグランプリ順位 【農政産業課】

進捗状況評価	C	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		900位 ⇒ 100位以内	897位				
評価の理由							
町外のイベントには積極的に参加してPRを行っているものの、なかなか順位が上がらない。							
A 順調							
B 概ね順調							
C 遅れている							
D 見直しが必要							
今後の方向性（改善策）							
町職員にさらなる投票協力を呼びかけるとともに、地元企業への投票協力を依頼していく。							

推進施策	4-2 新たな資源の発掘と交流の創出		
具体的な施策	4-2-1 ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進		
重要行政評価指標 (KPI)	内容	基準値(26年度)	目標(31年度)
	観光農園来園者数	—	年間2,000人
	観光農園拠点整備数	—	1か所

●主な取り組み

○広域観光周遊ルートの形成 【農政産業課】	事業年度	27	年度	～	31	年度
<p><事業概要> 広域的な観光周遊ルートの形成を検討します。</p> <p><取組状況と課題> 比企地域元気アップ実行委員会及び埼玉県川越都市圏まちづくり協議会を通じて、交流イベント事業を活用し、連携を図った。</p>						
○観光マップ作成事業 【農政産業課】	事業年度	27	年度	～	31	年度
<p><事業概要> 交付金</p> <p>町の観光地を掲載した観光マップを作成し、町内外へ広くPRします。</p> <p><取組状況と課題> 関係課と調整し、できる限り文化財を掲載した、サイクリスト向けコンパクトサイズの観光マップを作成し、各イベントで町の観光地をPRした。 一般向け冊子タイプの作成も検討する必要がある。マップ配布場所30か所を目標としたが、8か所の配布にとどまった。</p>						
○平成の森公園観光化事業 【まち整備課】	事業年度	27	年度	～	31	年度
<p><事業概要> 平成の森公園を拠点としたイベント開催やイルミネーションによる公園内の演出等、また平成の森公園内の整備を図ります。</p> <p><取組状況と課題> ちびっこフェスティバル・バラの小径祭り等イベントの実施、ラジオ・新聞・広報誌等によるPR、ドラマ撮影の場所提供、民間旅行者による日帰りツアーの誘致。(27年度実績は112,148人 前年度より6%増) 周辺に飲食店がなく、来園者からの食事に関する要望がある、路線バスのバス停から遠いため、車のない方への配慮が必要。</p>						
○観光おもてなし事業 【農政産業課】	事業年度	27	年度	～	31	年度
<p><事業概要> ・サイクリングの憩いのスポットやパブリックトイレ等を整備し、来町者の増加につなげます。 ・公共施設や観光施設等に統一感のある案内看板を設置します。</p> <p><取組状況と課題> 観光案内看板の設置について関係機関と調整を図り、28年度予算を確保した。パブリックトイレの設置については、関係課との検討を図ったが、調整中である。</p>						
○観光農園推進事業 【農政産業課】	事業年度	27	年度	～	31	年度
<p><事業概要> いちご、いちじく、ブルーベリーなど摘み取りができる観光農園の推進を図るとともに、新たな観光スポットとして、観光農園の拠点となる農業公社等による農業ふれあい拠点を推進します。</p> <p><取組状況と課題> ・観光農園の開設については、28年度中に「いちご」「ブルーベリー」の農園を1か所ずつ開園する計画があり、調整を図った。いちじくについては、生産組合に協力を図っていく。 ・農業ふれあい拠点の整備については、場所の選定や規模、内容などを計画する必要があるが、進捗はしていない。</p>						
○ふれあいパーク 【まち整備課】	事業年度	27	年度	～	31	年度
<p><事業概要> 川島インターチェンジ南側地区に人と人がふれあい、観光・文化・交流の拠点となる「ふれあいパーク」の設置を進めます。</p> <p><取組状況と課題> 川島インター周辺地域のまちづくり構想図書作成業務を委託した。 県との協議、開発事業パートナー選定のための資料作成、インター南地区開発に伴う企業への意向調査及び集計など</p>						

●重要業績評価指標（KPI）の評価

観光農園来園者数 【農政産業課】							
進捗状況評価	—	基準値（26年度）と目標（31年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 年間2000人	集計不可				
	評価の理由						
	年度途中のKPIの設定であったため、27年度は、1年間の集計できなかったため。						
	A 順調	今後の方向性（改善策）					
B 概ね順調	28年度より、集計をしていく。						
C 遅れている							
D 見直しが必要							

観光農園拠点整備数 【農政産業課】							
進捗状況評価	C	基準値（26年度）と目標（28年度）	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績
		— ⇒ 1か所	0か所				
	評価の理由						
	場所の選定や規模、内容などを計画し、地権者の調整が必要になるなど、農家や関係者と調整が必要である事業であるため、思うような進捗がみられない。						
	A 順調	今後の方向性（改善策）					
B 概ね順調	ふれあいパークと並行して進めていく。						
C 遅れている							
D 見直しが必要							